

平成30年度 事業報告書

平成30年度における重要無形文化財人形浄瑠璃文楽の伝承及び普及事業等の実施にあたっては、文化庁、大阪府並びに日本芸術文化振興会（国立文楽劇場）等の関係諸団体との連携・協力をさらに密接にしながら、公演事業への取り組み強化、伝承事業の充実に努めた。

中でも、大阪（国立文楽劇場）・東京（国立劇場）での本公演を始め、協会の自主公演である地方公演及びその他の特別公演等の実施にあたっては、これまでの実績を活かし、より充実した公演活動に努めた。

特に地方公演については、芸術文化振興基金等の助成制度を積極的に活用して、所期の事業成果を収めた。

さらに、文楽の普及啓発と国立文楽劇場への誘客を図るための試みとして、本年度も前年度に引き続き文楽に馴染みの少ない人達に文楽を知ってもらい親しんでもらうため、解説を中心に体験や短時間公演で構成する普及啓発事業を実施した。

1. 公演事業

(1) 本公演（国立文楽劇場、国立劇場主催）

国立文楽劇場及び国立劇場主催の本公演は、大阪・東京を併せて136日（307回）であった。

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大 阪 (国立文楽劇場)	4/7～30	23日 46回	17,996人
	7/21～8/7	18日 54回	19,790人
	11/3～11/25	22日 44回	19,638人
	(H31) 1/3～25	22日 44回	23,261人
計		85日 188回 (85日 188回)	80,685人 (83,167人)

東京 (国立劇場)	5/12～28	17日 34回	15,610人
	9/8～24	17日 34回	17,357人
	(H31) 2/2～18	17日 51回	21,619人
計		51日 119回 (51日 119回)	54,586人 (59,324人)
合計		136日 307回 (136日 307回)	135,271人 (142,491人)

(2) 地方公演 (文楽協会主催)

地方公演は、秋季及び春季に全国各地を巡演し、25日間にわたり49回の公演を行い、広く全国各地の文楽愛好家等の期待に応えた。

() 内は、前年度実績

公演地	期間	日数・公演数	観客数
東海・九州 中国・関東 信州・東北 北海道	9/29～10/18	11日 22回	8,739人
近畿・九州 中国・関東 東海	(H31) 3/2～3/24	14日 27回	10,615人
合計		25日 49回 (25日 48回)	19,354人 (21,641人)

(3) 青少年を対象とした公演 (国立文楽劇場・国立劇場主催)

青少年を対象とした公演は、国立文楽劇場及び国立劇場主催の「文楽鑑賞教室」を大阪 (13日 26回)・東京 (13日 24回) で実施したほか、同じく国立文楽劇場及び国立劇場主催による若手技芸員を中心とした「若手公演」を大阪 (2日 2回)・東京 (15日 15回) で実施した。

①文楽鑑賞教室（国立文楽劇場・国立劇場主催）

（ ）内は、前年度実績

公演地	期間	日数・公演数	観客数
大阪 (国立文楽劇場)	6/8～21	13日 26回(*)	17,244人
東京 (国立劇場)	12/6～18	13日 24回	13,111人
合計		26日 50回 (27日 51回)	30,355人 (32,508人)

(*)6/18 発生の大阪北部地震により 2 回公演中止

②若手公演（国立文楽劇場・国立劇場主催）

（ ）内は、前年度実績

公演地	期間	日数・公演数	観客数
大阪 (国立文楽劇場)	6/23～24	2日 2回	1,332人
東京 (国立劇場)	6/28～29	2日 2回	1,089人
東京 (国立劇場)	12/6～18	13日 13回	7,106人
合計		17日 17回 (17日 17回)	9,527人 (9,377人)

(4) 特別公演事業

平成 26 年のスイス公演（日本・スイス国交樹立 150 周年記念公演）以来となるジャポニスム 2018 フランス公演に参加した他、京都ギオンコーナーをはじめ、内子座文楽第 22 回公演（愛媛県）、につぼん文楽 in 明治神宮（主催：日本財団）公演など多種多様な 20 件の公演を実施した。

・主な特別公演事業

() 内は、前年度実績

公演名	期間	日数・公演数	観客数
京都 ギオンコーナー	4/1～11/30 (H31)3/8～3/31	267日 (265日)	78,251人 (83,046人)
内子座文楽 第22回公演	8/19～20	2日 4回 (2日 4回)	1,588人 (1,477人)
ムムム!!文楽① 中之島文楽	10/5～10/7	3日 3回 (3日 3回)	1,190人 (1,560人)
ジャポニスム 2018(フランス)	10/12～13	2日 2回	1,600人
ムムム!!文楽② 町家文楽	12/22	1日 2回	370人
はじめての文楽	(H31)3/2	1日 2回	800人
ムムム!!文楽③ 古典芸能春 Live	(H31)3/1・3/3	2日 2回	980人
にっぽん文楽 in 明治神宮	(H31)3/9～12	4日 12回	1,267人 立見2,335人

2. 伝承事業

平成30年度の契約技芸員数及び内訳は、次のとおりである。

契約技芸員数	太夫	三味線	人形
84名	20名	21名	43名

技芸の伝承・向上を目的として、師匠・弟子間の研修・指導に重点をおいた取り組みを推進するとともに、技芸員の舞台活動を支援するために舞台活動に必要な着付、黒衣、三味線等の購入等に際し助成を行った。

また当協会・国立文楽劇場が連携して若手技芸員による自発的な勉強会の開催

に対して積極的な協力・助成を行った。

さらに、真摯な舞台を務め、技芸の向上が著しい若手技芸員に対し文楽協会賞を贈った。

(1) 若手技芸員発表会

8月8日 蝠聚会（国立文楽劇場小ホール）

9月5日 蝠聚会（東京国立演芸場） *20周年特別公演

(2) 文楽協会賞表彰

3名 （豊竹希太夫、野澤錦吾、吉田玉彦）

3. 後継者育成事業

文楽協会の研究生3名（太夫1名、三味線2名）に対し、支援費として毎月一人5,000円の支給を行った。なお、養成費支給対象である独立行政法人日本芸術文化振興会の文楽研修生は在籍者なし。

4. 普及啓発事業

これまで文楽に馴染みの少なかった人達に、文楽を知ってもらい親しんでもらうため、大阪府下における認知度不足の解消と国立文楽劇場への観客動員増加を目的とした普及啓発事業として、三業の役割解説と短時間の演目を組み合わせた公演を実施した。

・普及啓発事業

実施場所	公演日	観客数
大阪府立中央図書館ライティーホール（東大阪市）	7/11	480人
関西テレビ なんでもアリーナ（大阪市北区）	10/21	462人
道頓堀・戎舞台（大阪市中央区）	(H31)1/10	約500人
本町ガーデンシティ特設舞台（大阪市中央区）	(H31)2/23	324人

5. 運営

(1) 評議員会の開催（6月4日）

決議事項：平成29年度事業報告について
平成29年度収支決算について
理事の選任について
定款の一部変更について

(2) 理事会

・第1回理事会 5月17日

決議事項：平成29年度事業報告について
平成29年度収支決算について
評議員会の招集について
内閣府への定期提出書類について
岸本忠三文楽支援基金規程施行内規の一部改正について

・第2回理事会 3月13日

決議事項：2019年度事業計画について
2019年度収支予算について
文楽基金の一部取り崩しについて
2019年度国庫補助事業実施決議について
運営資金の短期借入れ並びに担保の提供について
規程（賛助会員）の新設について
事務局の人事について

報告事項：岸本忠三文楽支援基金取崩し見込み額について

【 附属明細書 】

事業報告書に詳細まで記載しているため、記載する事項はありません。